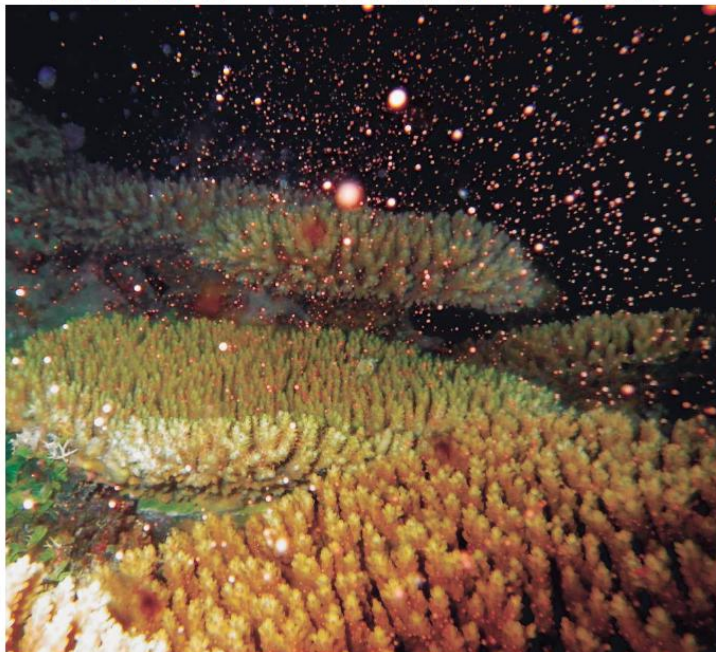


竹富町黒島沖の海域で一斉産卵が確認された移植サンゴ
 =18日午後10時半ごろ、竹富町黒島沖 (いであ提供)



移植サンゴ一斉産卵 竹富町黒島沖



【石垣】環境省石垣自然保護官事務所は23日、竹富町黒島沖で植え付けたサンゴの一斉産卵を確認したと発表した。18日夜、自動記録式のカメラで撮影に成功した。

場所は石垣島と西表島間の「石西礁湖」と呼ばれる日本最大規模のサンゴ礁域で、西表石垣国立公園に指定されている。

同事務所によると、この海域のサンゴは近年、減少しているという。そのため同省は2005年からサンゴを植え付ける事業を始め、13年度までの累計で約4万4千個のサンゴ種苗を移植。産卵が撮影されたサンゴは05～08年に移植したサンゴ。産卵の確認は5年連続。